

2018 年度春日部市民文化講座(第 1 回)

第 26 回 利休七哲キリシタン大名高山右近の茶の湯を考える

織田有楽齋は、高山右近の茶の湯を「きよめの病」という言葉を使っている。有楽は何を語ろうとしたのか。



講師：高橋敏夫

ゲスト：金子圭子 「侘茶と音」^{おと}

日時：2018 年 6 月 13 日(水) 午前 10 時～12 時

会場：ぽぽら春日部(ふれあいキューブ市民活動センター 4 階、会議室 1)

定員：30 名

(主催者にお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。)

会費：1000 円 抹茶とお菓子付き

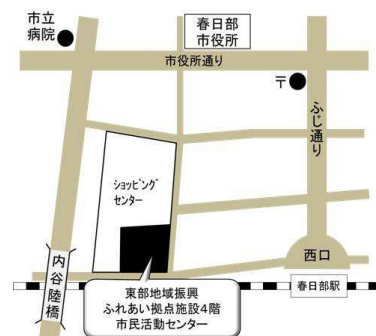
主催：ボーイスカウト春日部 10 団

春日部市中央 1-51-7(春日部福音自由教会内)

担当 山田豊(Tel.048-754-7683)

電話：048-735-4765(火～土、午前 9 時～午後 5 時) FAX：048-735-4726

Eメール：info@kefc.jp



講師

高橋敏夫(たかはしとしお)

1940 年、長野県、安曇野市(旧穂高町)生まれ。
1969 年春日部福音自由教会牧師に就任。
幼児、青少年の育成のために、「めぐみ幼稚園」「ボーイスカウト春日部 10 団」を設立、青年会議所、PTA で活動。高山右近の研究者として、聖書と茶の湯を中心とした文化講演やセミナーを、神学校、大学、カトリック教会などで行っている。
表千家教授、在庵庵主、ボーイスカウト春日部 10 団団委員長

著書：「茶の湯の心で聖書を読めば」

「高山右近を追え」(いのちのことば社)



ゲスト

金子圭子(かねこけいこ)

1947 年、山口県生まれ、柏市在住。
ピアノ・教会音楽を学ぶ。
表千家教授。
ユスト高山右近とキリシタン大名に感銘を受け、お茶と祈りの日々を過ごしている主婦。